

平成30年12月 25 日

報道機関 各位

東 北 大 学

東北大学災害復興新生研究機構シンポジウム
～社会とともに～
「防災力・減災力の向上を目指して」
開催のご案内

東北大学は、東日本大震災の被災地の中心にある総合大学として、復興に全力を傾けていく歴史的使命のもと、「東北大学災害復興新生研究機構」を設置して継続的かつ発展的な活動を進めてまいりました。

東日本大震災から8年が経過しようとしていますが、未だ余震は絶えることがなく、さらには熊本地震、大阪北部地震、北海道胆振東部地震等の新たな大規模災害が発生しており、全国各地でいつ同じような災害が発生するかわからない状況が続いており、災害からの復興はもとより、防災・減災の重要性がますます高まっています。

今回のシンポジウムでは「防災力・減災力の向上を目指して」をテーマとし、地震を中心とした本学の災害研究について、4つの異なる見地から紹介することとしておりますので、開催告知についてご協力をお願いいたしますとともに、ぜひ当日はご出席いただきたくご案内申し上げます。

記

日 時： 平成 31 年 2 月 13 日(水)13:00-16:30(受付開始 12:30～)

場 所： ウェスティンホテル仙台 2階 グランドボールルーム
(〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 1-9-1)

定 員： 150 名(どなたでもご参加いただけます)

主 催： 東北大学

後 援： 文部科学省

参加費： 無料

※報道機関の皆様におかれましては、ご出席いただける場合には、2月4日(月)までに別紙出席確認表にてご連絡願います。

問い合わせ先
東北大学災害復興新生研究機構 企画推進室
担 当 長岡
電 話 022-217-5009 (総長・プロボスト室)
E-mail skk-som@grp.tohoku.ac.jp

東北大学総長・プロボスト室 行

F A X 番号 : 022-217-4856

出席確認票

御出席に際しては下記 F A X にて、
2 月 4 日（月）17 時までに御返信ください。

日 時 : 平成 31 年 2 月 13 日（水）
13:00～

会 場 : ウェスティンホテル仙台（別添チラシ参照）

御社名 : _____

御所属 : _____

御芳名 : _____

媒体名 : _____

御連絡先 : _____

電話 : _____ F A X : _____

Email : _____



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学災害復興新生研究機構 シンポジウム

～社会とともに～ 防災力・減災力の 向上を目指して

東日本大震災からまもなく8年経過しようとしていますが、未だ余震は絶えることがなく、さらには熊本地震、大阪北部地震、北海道胆振東部地震等の新たな大規模災害も発生しています。また、我々を取り巻く自然災害は地震のみにとどまらず、西日本豪雨(平成30年7月豪雨)や、近畿地方を中心に大きな被害をもたらした台風21号等の災害も記憶に新しいところです。全国各地でいつ同様な災害が発生するかわからない状況が続いている今日においては、災害からの復興はもとより、防災・減災の重要性がますます高まっています。

今回のシンポジウムでは「防災力・減災力の向上を目指して」をテーマとし、地震を中心とした本学の災害研究について、4つの異なる見地から紹介します。これまでの震災から得られた知見や教訓を市民の皆様にご理解いただくとともに、いつ訪れるかわからない大規模災害への備えを再認識して、地域の防災力・減災力の向上を図ることを目的に本シンポジウムを開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

開催日

平成31年

2月13日(水)

時間

13:00～16:30 (受付開始時間 12:30～)

定員

150名 [参加費無料]

場所

ウェスティンホテル仙台 2階
グランドボールルーム

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1

主催:東北大学 後援:文部科学省

<http://www.idrrr.tohoku.ac.jp/sympo2019/>

ウェブサイトの申込みフォームよりお申込みください。
定員になり次第、受付終了となります。

プログラム

13:00 開会挨拶

東北大学総長 大野 英男

13:05 来賓挨拶

文部科学省

13:10 講演

「東北大学復興アクションの軌跡と未来」

東北大学理事(社会連携・震災復興推進担当)、
災害復興新生研究機構長 原 信義

13:30

「活断層型地震に備える:

長町一利府線断層帯を例として」

東北大学災害科学国際研究所 教授 遠田 晋次

14:10

「海溝型地震に備える:

東北地方太平洋沖地震がもたらした教訓」

東北大学理学部地質学
地震・噴火予知研究観測センター長 教授 松澤 暢

休憩(15分)

15:05 講演

「最近の津波被害の特徴と防災の取組

—3.11東日本大震災からインドネシア・パル地震津波」

東北大学災害科学国際研究所所長、
災害復興新生研究機構副機構長 教授 今村 文彦

15:45

「公衆衛生的アプローチによる大規模災害対応」

東北大学災害科学国際研究所 教授 栗山 進一

16:25 閉会挨拶

東北大学総長特別補佐(震災復興推進担当) 張替 秀郎

シンポジウム 講演者



14:10
海溝型地震に備える：
東北地方太平洋沖地震が
もたらした教訓

松澤 暢
東北大学理学研究科
地震・噴火予知研究観測
センター長 教授



13:10
東北大学
復興アクションの
軌跡と未来

原 信義
東北大学理事
(社会連携・震災復興推進担当)、
災害復興新生研究機構長



13:30
活断層型地震に備える：
長町ー利府線断層帯を
例として

遠田 晋次
東北大学
災害科学国際研究所 教授



15:05
最近の津波被害の
特徴と防災の取組
ー3.11東日本大震災から
インドネシア・パル地震津波

今村 文彦
東北大学災害科学国際研究所所長、
災害復興新生研究機構
副機構長 教授



15:45
公衆衛生的
アプローチによる
大規模災害対応

栗山 進一
東北大学
災害科学国際研究所 教授

講演者に対する事前のご質問をWeb申し込みフォームで受け付けております。

ACCESS アクセス

ウェスティンホテル仙台

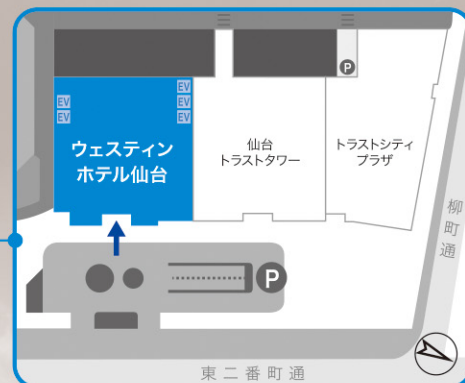
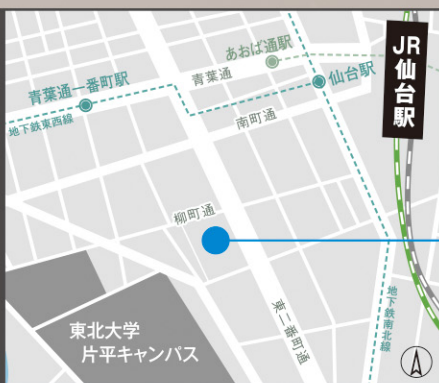
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1

地下鉄

- 「仙台」駅 南2番出口より徒歩約6分
- 東西線「青葉通一番町」駅 南1番出口より徒歩約7分

JR

- 「仙台」駅 西口より徒歩約9分
- 仙石線「あおば通」駅 2番出口より徒歩約8分



お申し込みについて

参加をご希望の方は、下記URLの申し込みフォームからお申込みください。

<http://www.idrrr.tohoku.ac.jp/sympo2019/>

申込みは先着順となりますので、お早めにお申込みください。

※定員になり次第、申込みを終了いたしますので、ご了承ください。



FAXでのお申し込みも可能です。以下に必要事項をご記入のうえ、下記番号へ送信ください。

FAX: 022-217-4856

お名前	フリガナ	電話番号	
		E-mail	
ご住所	〒	ご所属・役職	
通信欄			